

2019年度 入学者の構成に関するアンケート調査の結果報告

制度委員会

委員長 藤井 義巳

今年度も入学者の構成に関するアンケート調査を4ブロックに分け集計し、結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。ご協力いただいた学校様は、会員校43校と非会員校13校の計56校でありました。

2019年度のアンケート調査項目は、全体会議で会員校の皆様から従来のアンケートを基に改善点等のご意見を頂戴し、制度委員会（幹事校会議）で検討を行い、学校運営の根幹となる学生募集を意識し、新たに次の4項目を追加いたしました。柔道整復師の資格をいつ頃知ったか／柔道整復師の資格を何によって知ったか／入学校への受験を決定した時期／入学校を選んだ理由。ご確認いただき、是非とも広報をするうえでの参考資料としていただければ幸いです。

昼間課程を午前課程（午前からの授業）と午後課程（午後からの授業）に分けて集計した定員充足率に着目すると、2017年度は午前課程 約72%、午後課程 約59%、夜間課程 約45%であったのが、2018年度ではそれぞれ約72%、約55%、約45%に、そして2019年度では、それぞれ約73%、約50%、約36%となっており、特に、午後課程、夜間課程における定員充足率が低下しております。2018年を目途に18歳人口が減少期に入ったことで、今後は午前課程においても、定員充足率の低下が予測され、学校運営に影響を及ぼすのではないかと危惧しております。また、新たに追加いたしました入学校への受験を決定した時期について、高校生をターゲットとした午前課程では高校3年の1学期には、既に入学校への受験を決めている学生が多いことが伺えます。また、入学校を選んだ理由について、午前、午後課程では、教育内容が充実、国家試験の合格率、施設・設備が充実という回答が多く、夜間課程においては、西日本エリアでは交通の利便性の回答が多くなっております。

新教育課程がスタートし2年目になりますが、各校の皆様におかれましては、日々教育の充実に取り組んでおられることと思います。ここでは一部のアンケート結果のみ取り上げましたが、このアンケート調査の結果をご参考のうえ、今後の学生募集に少しでもお役に立てて頂ければと存じます。

最後になりましたが、この度のアンケート調査に多くの学校様にご協力を頂きましたこと、心より御礼申し上げます。また、このアンケートは、次年度におきましても制度委員会の事業として実施いたしますので、引き続き、貴重なご意見をいただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。